

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成18年7月20日(2006.7.20)

【公開番号】特開2001-354949(P2001-354949A)

【公開日】平成13年12月25日(2001.12.25)

【出願番号】特願2000-175214(P2000-175214)

【国際特許分類】

C 0 9 K 3/10 (2006.01)

C 0 3 C 27/06 (2006.01)

C 0 8 L 51/06 (2006.01)

【F I】

C 0 9 K 3/10 G

C 0 9 K 3/10 Z

C 0 3 C 27/06 1 0 1 Z

C 0 8 L 51/06

【手続補正書】

【提出日】平成18年6月1日(2006.6.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

連続相が、加水分解性シリル基を有するシラン化合物をグラフトした非結晶性ポリオレフィンであり、分散相が熱可塑性樹脂および/またはエラストマーであり、透湿度が、 $200\text{ g/m}^2 \cdot 24\text{ h}$ 以下(30 μm 厚さ)であり、

前記シラン化合物をグラフトした非結晶性ポリオレフィンと前記熱可塑性樹脂および/またはエラストマーとの重量比が、30:70~70:30であるシーリング材組成物。

【請求項2】

前記分散相が、熱可塑性樹脂連続相中に、少なくとも一部が動的に架橋されたエラストマー組成物からなる分散相を有する熱可塑性エラストマー組成物である請求項1に記載のシーリング材組成物。

【請求項3】

前記シラン化合物をグラフトした非結晶性ポリオレフィンが、ポリオレフィンに対するシラン化合物のグラフト率が0.1~10重量%である請求項1または2に記載のシーリング材組成物。

【請求項4】

さらに吸湿剤を含む請求項1~3のいずれかに記載のシーリング材組成物。

【請求項5】

請求項1~4のいずれかに記載のシーリング材組成物をシーリング材且つスペーサーとして用いた複層ガラス。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0074

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0074】

【表 1】

第 1 表 (その1)

	実施例 1	実施例 2	実施例 3	実施例 4	実施例 5	実施例 6	比較例 1	比較例 2	比較例 3
シラグラトした非結晶性ポリオレフィン 熱可塑性エラストマー組成物 ① 熱可塑性エラストマー組成物 ② 熱可塑性樹脂	30 70	50 50	30 70	50 25	30 70	50 50	100 100		100
樹脂改質剤 ① 樹脂改質剤 ② 相溶化剤			20	25 10					
透湿度 (g/m ² ・24hr)	65	55	150	80	60	40	5	30	80
<ガラス板の非錫面への接着試験> 非錫面に各シート4mmをのせて 150℃で30分放置 20℃×55%に11日放置後の手剥離	濡れ性 あり	濡れ性 あり	濡れ性 あり	濡れ性 あり	濡れ性 あり	濡れ性 あり	濡れ性 なし	濡れ性 なし	濡れ性 あり
	接着	接着	接着	接着	よく接着	よく接着	接着せず	接着せず	接着*1

*1 流動するためスペースとして機能せず。

【表 2】

第 1 表 (その 2)

	実施例 7	実施例 8	実施例 9	比較例 4	比較例 5
シラグアウトした非結晶性ポリブタジエン 熱可塑性エラストマー組成物 ① 熱可塑性エラストマー組成物 ② 熱可塑性樹脂	30	50	70	20	90
樹脂改質剤 ① 樹脂改質剤 ② 相溶化剤	70	50	30	80	10
透湿度 (g/m ² ・24hr)	16	15	25	15	50
<ガラス板の非錫面への接着試験> 非錫面に各シート 4mm をのせて 150℃ で 30 分 放置 20℃ × 55% に 1 日 放置後の手剥離	濡れ性 あり	濡れ性 あり	濡れ性 あり	濡れ性 なし	濡れ性 あり
	よく接着	よく接着	よく接着	接着せず ^{*2}	接着する ^{*3}

* 2 連続相か熱可塑性樹脂。

* 3 吐出時に形状保持不可。